

2015  
**4.1**

市報

# ひがしまつしま



## 未来へ向かって新たな一歩 ～東松島市 市制10周年～



矢本・鳴瀬の両町が合併して誕生した東松島市は、4月1日で市制施行10周年を迎えました。東日本大震災という大きな危機に直面しても、市民の力を結集し、復興に向かって進んでいます。

今号の特集では、東松島市のこれまでの歩みや市制施行10周年事業の取組みを紹介するとともに、まちの未来を展望します。

写真…東松島市が誕生した平成17年4月1日に生まれた三浦晴登くん(矢本東小5年・上の写真左)、阿部莉子さん(矢本東小5年・上の写真右)、内海隼風くん(鳴瀬桜華小5年・下の写真中央)と東松島市キャラクター イート&イーナ(撮影場所:上・滝山公園、下・大高森)

市報  
ひがし  
まつしま  
No.168

- 特集 未来へ向かって新たな一歩 ～東松島市 市制10周年～ ----- P2～P7
- まちの情報広場 --- P8～P10、16～17
- 市民協働のまちづくり ----- P11
- City View ----- P12～P13
- もっと知りたい!ひがしまつしま --- P14～P15
- 知っ得情報 ----- P18～P21
- ヘルシーインフォメーション ----- P22
- 戸籍のまど ほか ----- P23
- 市民のカレンダー ----- P24



東松島市キャラクター イート&イーナ  
(右) (左)

# 市報に載った写真でみる 東松島市10年の歩み



平成17年(2005年)

4月1日、矢本町・鳴瀬町が合併し、東松島市が誕生。新市名は、応募総数5019件の中から協議を重ねて決定。また、7月29日には市名の一部、東をシンボル化した市章、市花(さくら)、市木(松)が市の象徴として決定しました。



平成18年(2006年)

2月17日、市キャラクター「イト」が誕生。愛称の「イト」は、東松島市の東(イースト)と心(ハート)が融合した名前。耳はハート型で、心が集う都市と市の花桜の花びらを表し、東松島市の自然豊かな将来像を表しています。



平成19年(2007年)

3月28日、鳴瀬川と吉田川に架けられた東松島大橋が開通。平成15年の宮城県北部連続地震で通行不能になった小野橋に代わる新橋として、市の交通の利便性が高まりました。



平成22年(2010年)

10月17日、合併5周年記念式典と市民まつりが開催。コミュニティセンターをメイン会場とし、東松島市イメージソングの披露や各地区の特色ある芸能のステージや料理の振舞いで賑わいました。



平成21年(2009年)

4月1日、「新たな市民協働のまちづくり」が始まる。市民と行政、企業やNPOなどが、特性や専門性を活かしながら、ともに考え、行動に移してよりよいまちづくりを目指す。



平成20年(2008年)

3月21日、矢本第一中学校新校舎が完成。新校舎は生徒が快適な環境の中で教育を受けられるよう配慮されています。



平成23年(2011年)

3月11日、東日本大震災が発生し、市内各地で大きな被害、特に全家屋の約97%が被害を受け、ライフラインも絶たれるなど、凄まじい被害を、家族や地域、ともに支え合いながら乗り越えました。(写真は、仮設住宅建設の様子)



平成24年(2012年)

4月5日、PFI(民間による施設整備・サービス提供事業)を活用した給食センターが完成。愛称は「ハッピー(幸せ)」と「イト(食べる)」を組み合わせた、「ハッピーイト」に決まり、安心安全な給食を最新設備で提供できるようになりました。



平成25年(2013年)



2月27日に小野小学校、28日に浜市小学校、3月16日に鳴瀬第二中学校、21日に鳴瀬第一中学校が開校式を開催され、4月1日から鳴瀬桜華小学校、鳴瀬未来中学校に再編。これからの地域を担う人材の育成を目指します。



3月28日、市内初の災害公営住宅となる市営小松南住宅の鍵引き渡し式が開催(左の写真)。また6月10日、市内初の防災集団移転団地5団地の引渡し式が開催。さらに11月14日、市営あおい住宅の入居式が開催(右の写真)。



平成26年(2014年)



## 東松島市10周年記念冠事業の募集

市では平成27年4月に市制施行10周年を迎えます。そこで、市民の皆さんや各種団体が行う事業で、市の魅力を伝えていただける冠事業を募集します。

応募いただいた事業は、内容を審査のうえ、開催趣旨に合致するものを認定します。これまでの事業にひと工夫したものや、市の魅力をさらに伝えるためのアイデアを盛り込んだもの、これまで注目されてこなかった魅力の発信に挑戦するものなど、10周年を機に、東松島市の魅力をもっと多くの人に知ってもらえるような事業について、皆さんからの応募をお待ちしています。

■対象事業 平成27年4月1日(水)から平成28年3月31日(木)までの間に行われる事業で、市制施行10周年記念事業開催趣旨に合致するもの

- ただし、次の事業は対象とすることはできません。
- ・法令および公序良俗に反し、またはそのおそれがあるもの
  - ・特定の政治、思想、宗教等の活動に利用されるおそれがあるもの
  - ・暴力団またはその統制下にある団体との関係があるもの
  - ・10周年記念事業の品位を害し、または正しい理解を妨げるもの
  - ・市の信用失墜に至るおそれのあるもの
  - ・その他市長が不適当であると認めたもの

※応募後、審査を経て認定します。

### ■冠事業の特典

- 「東松島市制施行10周年記念」の冠称の使用
  - PR用「横断幕」、「のぼり旗」の貸し出し
  - 市報ひがしまつしまおよび市ホームページによる開催の告知
- ※冠称事業への施設使用料の減免を行うものではありませんので、ご了承ください

■応募方法 「市制施行10周年記念冠称使用認定申請書」に必要事項を記入のうえ、下記担当へ提出してください。

※申請書は市ホームページからダウンロードできるほか、下記担当に直接請求ください。なお、11ページ掲載の「地域まちづくり交付金事業」の市制10周年記念事業とは異なります。

■問 総務課秘書広報班 ☎内線1202・1212

## 市制10周年記念 感謝と元気を全国に発信!! 2015チャレンジデー in 東松島

■日時 5月27日(水) 0時~21時 市内一斉開催

この日は「運動する日」です。15分間運動して報告しましょう!

今回の対戦相手(3市で対戦します)

大分県

**豊後大野市**

人口 38,561 人

VS

沖縄県

**南城市**

人口 42,271 人

**東松島市**

人口 40,204 人

### 【対戦方法】

- ・15分間以上続けてスポーツや運動をした「住民の参加率」を競い合います。
- ・参加率(%)=参加者数(人)÷人口(人)×100…人口は2月1日現在の住民基本台帳登録者数を使用。
- ・午後10時まで最終参加率を算出し、笹川スポーツ財団へ報告します。



### 【旗の掲揚】

- ・対戦に敗れた自治体は、翌日から1週間庁舎のメインポールに相手の自治体の旗を掲揚します。

### 【禁止事項】

- ・ダブルカウントの禁止…チャレンジデー当日は、参加者がさまざまなスポーツイベントに1人何回参加しても構いませんが、公平な参加率を算出するため、集計センターでの参加登録は「1人1回」になります。



▲昨年開催の様子(5月28日、東松島市民体育館)

■問 チャレンジデー東松島市実行委員会  
(事務局:生涯学習課スポーツ振興班) ☎内線3324



【ユスリダ・アーニタさん】

(写真左)

31歳、バンダ・アチェ市では、環境部公園緑地計画課所属。夫と3人の子どもがいる。ガーデニングとバドミントンが趣味。日本食はうどん、エビや貝類の寿司、牡蠣、天ぷらが好き。

【フィットリナーナさん】

(写真右)

31歳、バンダ・アチェ市では、通商・中小産業振興部産業課所属。夫と2人の子どもがいる。趣味は旅行とスポーツをテレビで観戦すること。日本食はそば、寿司、天ぷらが好き。

## 東松島の10年の歩みを母国のまちづくりに活かしたい 東松島市誕生から10年—スマトラ沖地震から10年

一般社団法人「東松島みらいとし機構」(愛称・HOPE)では、インドネシア共和国バンダ・アチェ市から派遣された職員を受け入れています。独立行政法人国際協力機構(JICA)による草の根事業の一環で、フィットリナーナ(愛称・フィットリ)さん、ユスリダ・アーニタ(同リダ)さんの2人が2月16日(月)から5月16日(土)までの3カ月間、東松島市の復興の取り組みなどを学んでいます。2人に東松島市の印象や両市の未来について伺いました。

### Q 東松島市の印象は

フィットリさん— 感心したのはまちのインフラが整っていることです。そして地域の皆さんがとても友好的で親切だったこともうれしかったです。

リダさん— まちがきれいで景観も良く、市民の皆さんはとても働き者だなという印象です。そして季節は春ですが、東松島はとても寒いです(笑)。

### Q 3カ月間の研修ですがどんなことを学びたいですか

フィットリさん— 仮設住宅の方々が制作されているソックスモンキー「おのくん」や、女性たちが取り組む「ステッチガール

### みらいとし機構で3カ月間研修 バンダ・アチェ市(インドネシア)職員に聞く

ズ」など、コミュニケーションビジネスの実践・管理方法や活動の宣伝方法、マーケティングなどを学び、母国に持ち帰りたいです。また日本の市場は機能的でかつ衛生面にも気を使っていたので、その姿勢も役立てたいです。

リダさん— 鷹来の森の防災備蓄倉庫や沿岸部の防潮堤、高台移転などまちの防災への取り組みを積極的に学んでいます。また日本の廃棄物処理・リサイクルなどの方法も興味深く感じます。また東松島市の環境美化への取り組みなども勉強して帰りたいと思います。

### Q 今後、両市でどんな関係を築いていきたいですか

フィットリさん— とにかくいろいろな物事を見て学び、実践的なアイデアを発見し合える関係でいければと思います。両市がともに発展できるように、互いに情報を発信し合うことが大事だと思います。

リダさん— 互いに学べることはたくさんあると思います。いま続いているこの関係を継続していくこと、非常にシンプルではありますがありますが、それが一番大切だと感じています。今後も交流を深め、ますます友好的な関係を築いていきたいですね。

▶第3回国連防災世界会議に出席したアチエントの様子



自分たちの力でふるさとを魅力を広めたい。「あかいつこカンパニー」は、そんな思いを抱く矢本第一中学校区の小学5年生から高校生で構成する活動団体です。主に地元

## 自慢の野菜で地域を元気に

# あかいつこカンパニー

## 育んだ絆を広めたい

の野菜を直売する子ども朝市「赤井の野菜を食べてけらいん市」の企画・運営を行っています。

活動のきっかけは、平成24年に子どもたちが理想のふるさとを未来について考えた「ほくとわたしの復興計画」(赤井自治協議会「コミュニティ部会主催」)です。その中で「赤井の美味しい野菜を内外に広めたい」「地域交流の場を作りたい」などの意見が交わされ、行き着いたのが「子ども朝市」でした。朝市は25、26年の11月に行われ、いずれも1時間足らずで完売になるほどの盛況でした。

以前は実行委員会形式でしたが、名称を「あかいつこカンパニー」と変えた26年度からは、子どもたちの参画意識を高めるため、会社形式にしてそれぞれの役割も設けました。社員は33人で、社長を筆頭に副社長、営業、経理、広報、顧問があり、広報はチラシ作製、営業は生産者との価格交渉を行うなど、大人顔負けの活動を展開しています。

副社長の桜井まゆさん(赤井小6年)は「地域の人



「あかいつこカンパニー」の主なメンバーの皆さん

■あかいつこカンパニーに関する問

赤井市民センター ☎82-2075

# 輝くまちの未来へ向かって

## 明るく全開 笑顔で活動する皆さん

これからの東松島を支える市民の皆さんの元気は、まちの発展に向けた大きな力です。市内にはまちづくりへの思いや趣味などを通して集まった世代を超えた人々による団体が数多くあります。その中からふるさとを愛する子どもたちで構成する「あかいつこカンパニー」の皆さんと、勇ましい演奏で地域に活気を呼び込む「鳴瀬鼓心太鼓」の皆さんを紹介します。



「鳴瀬鼓心太鼓」の主なメンバーの皆さん

## 矢本と鳴瀬の力を合わせて

# 鳴瀬鼓心太鼓

## 勇壮な演奏で地域に活気

鳴瀬鼓心太鼓(佐藤弘会長は合併前の平成11年にミニ二団体サッカー競技開会式の歓迎演奏をきっかけに、小野公民館太鼓教室として始まった創作和太鼓チームです。元々は旧鳴瀬町に住む有志を中心にした団体でしたが、合併後には旧矢本町の方々も加わり活動をするようになりました。

市内外を問わず多くのイベントに出演し、勇壮な太鼓の音で地域に活気を呼び込んでいます。要望があればどこにでも駆けつけ演奏を披露しています。現在は30、70代の19人で構成しており、年配の女性が多いのも特徴の一つであり、同時に自慢でもあります。

発足時から会員として活動している小島光代さん(65)は「震災で心に傷を負った人たちにこんな年寄りでもここまで頑張っているんだよ」と、演奏を通して伝えることができれば幸いです」と話します。

一方、同じく初期メンバーの片岡君江さん(62)は「市が合併10周年を迎えるのと同じように、鳴瀬鼓心太鼓も旧矢本町の会員が加わって今年で10年になります。合併を機にチームの団結力は一層強まったように思います」と笑顔で振り返っていました。

矢本地区に住む佐藤会長(71)は「いきいきとした演奏に魅了されて合併後に加入した会員の一人です。佐藤会長は「東松島市に元氣と活気を与えようと、鳴瀬・矢本の住民が一丸となって仲良く日々練習に励んでいます。復興に向かうまちを、太鼓の音で力強く後押ししていきたいです」と決意を述べていました。

鳴瀬鼓心太鼓では現在市内外の方々を問わず、広く新規会員を募集しています。また5月からは和太鼓教室も実施します。練習は月2回水曜日の午後6時から7時まで小野地区体育館で行っており、参加料は1人5千円です。興味のある方は佐藤会長 ☎82-6087まで連絡ください。





# 市制10周年を迎えた今 合併協議会委員に聞く



山崎清美さん × 齋藤英彦さん  
(旧鳴瀬町) (旧矢本町)

## 震災でひとつになった 市民のパワー再発見

◆合併協はどんなことが議論されましたか。

【山崎さん】新市の方向性をまとめた建設計画の将来像は「おおおとみずみずしい心が集う都市」。町の規模に差があり、鳴瀬町は矢本町に吸収されるのではなく、あくまで対等な合併にこだわっていました。そんな中で、行政サービスは高い方、市民の負担は低い方に合わせるというのが基調でした。

【齋藤さん】矢本町はいかにも裕福だと見られがちでしたが、将来的な財政シミュレーションは決して良いものではありませんでした。行政職員や議員を減らすことはすぐにまとまりましたが、細部は「新市で検討する」「合併後に見直す」といった項目が多かったように記憶しています。平成15年の宮城県北部地震で合併が1年先送りになり、当初は存続方針だった公立深谷病院も清算さ

れました。

◆東松島市という名称は気に入っていますか。

【齋藤さん】私は名称選考の委員も務めていました。公募では2000種類が寄せられ、8候補に絞って協議会で決めました。日本三景の松島の東側にあり地理的にイメージしやすい名前です。埼玉県の東松山市や広島県の東広島市と間違われやすいですが、似た名前が縁で東松山市となりができ、何がきっかけになるかわからないと驚きました。

【山崎さん】はじめは新しい市名に違和感がありました。ある委員さんが言った「松島の東にあり、日出ずる東は縁起が良い」に感銘を受け、考え直したのを覚えています。

◆いざ合併して感じたこと、良かったことを教えてください。

【齋藤さん】旧矢本町は基地の町。奥松島の自然は魅力的で、親



齋藤英彦さん  
JAいしのまき青年部長など歴任。教育委員は旧矢本町の平成14年からで、25年5月から市教育委員長。赤井に両親、妻の4人暮らし。



山崎清美さん  
旧鳴瀬町で男女共同参画や都市計画にかかわる委員、保健推進員と幅広い分野で活躍。松島町内のみなし仮設に夫、次女、母の4人暮らし。

光のまちとしての可能性が高まったと思います。子どもたちの体験の場も増え、教育の環境が充実しました。

【山崎さん】私も嵯峨浜など地域の魅力に改めて気づかされました。旧町単独ではこうした観光資源を十分に活かせなかったと思います。また、全市を挙げたイベントなどを通じて、知り合いも増えました。考え方が違う人にも出会い、良い刺激になりました。

趣味の講座の一つを取っても、以前は行政が費用の全部をまかなっていましたが、今は市民も負担するのが当たり前。それでも参加するかどうかは市民次第ですから、何かをする人、何もしない人で差がつかます。

まちを住みやすくするのも住民次第です。市民協働や地域づくりに積極的な人ほど合併の効果は実感できるはず。2町の合併は隔々まで目が行き届く、ちよよい良い規模。合併してはなかったら、あの東日本大震災も乗り越えられなかったでしょう。

◆東松島市は市制5年の平成22年10月に市民協働のまちづくりによる都市宣言を制定しました。翌年には震災が発生し、市民が共

助を發揮しましたが、旧町間の意識の変化は感じ取れましたか。

【齋藤さん】震災の記憶が強烈すぎて、それ以前の記憶は薄れるほどです。やはり震災があったというきっかけになったのではないのでしょうか。学校でクラス替えがあっても、慣れるまでは時間がかかるものです。

◆東松島市の今後に望むことは何ですか。

【山崎さん】津波で全部失うと、日々を生きるのに精一杯になってしまいます。ですから、まちの復興、発展、地震や津波におびえることのない暮らしを願うばかりです。引越してしまいましたが、やはり地元のことには気になり、夫はまた野蒜に戻ると言っています。

【齋藤さん】何でも行政に頼る時代ではないので、市民それぞれが得意分野で地域づくりに力を貸せば、住みよいまちになるはず。鳴瀬地区では、学校復興や地域が学校運営に参画する取り組みが始まっていますが、教育委員としては子どもを笑顔にすることを大事にしたいですね。それが一番大人を勇気づけます。

2010年(平成22年)	
1月	新・石巻青果花き地方卸売市場が完成、初市式を行う。なお、青果市場の石巻市内からの移転をめぐることは、予定地の農地共同地産産を定めた地産産との用地交渉が決裂し、農取用委員会での収用決定がされたなどの動きがあった 警察庁のモデル事業「子どもを犯罪から守るための環境づくり支援事業」として、大曲・赤井両地区に防犯カメラを設置・運用開始 第62回奉乾海苔品評会で最高賞の「優賞」に興漁漁協水産支所所属の相次武一氏出品の乾のりが選ばれ、皇室に献上される
2月	民間の資金や技術を活用したPF方式による初の東松島市立学校給食センター稼働開始。食糧総合業務のグリーンハウス(東京)を代表企業とするグリーングループへの事業委託することを決定 南アメリカ・チリ大地震で発生した津波で、宮城県など東北の太平洋側に大津波警報が発表。多くの市民が避難。養殖施設を中心に漁業関係で大きな被害を受けたことを受けて急激災害指定になる
3月	地域の活性化を目指し、欠本商店街の空き店舗(旧家具店)を改装した施設「あったかいホール」がオープン 市キャラクター イートの着ぐるみ(第2弾)とイートの妹「い〜な」の登場が公表 航空自衛隊アクトバト飛行チーム ブルーインパルスが創設50周年を迎える
4月	市の総務や産業など6部局の各部長が施策説明への数値化などとして市の燃費事業を推進する「部長マニフェスト」を本格導入(21年度は実行) 市教育委員会が、子どもたちの主体的な取り組みなどを促す「心あったかい」を市内小・中学校で本格的に開始 新・大曲市民センターが完成
5月	第5回東松島国際ツーデーマーチが、野蒜海岸や室戸を中心に開催 2010チャレンジデーin東松島を初めて開催。対戦相手の茨城県常陸太田市に惜敗したが、アワード部門「ベストPR賞」を受賞
6月	三陸自動車道欠本PA無料休憩施設「イートハウス」(上・下線)がオープン 東松島市総合防災訓練を実施
8月	東松島夏まつり2010、第9回東松島市鳴瀬流灯花火大会が開催 合併5周年記念 東松島市社会福祉大会2010(市社会福祉協議会主催)が開催 新・大曲地区体育館が、大曲市民センターに併設して完成
9月	25年間にわたり調査が続く赤井遺跡にスポットを当てた「赤井遺跡フォーラム」が開催 人口減少など、大勢市との格差拡大が懸念される中で「住み続けたい石巻地方」を実現するため、石巻市を要に東松島市、町・村との連携強化を掲げた「石巻圏域自立型圏形成協定」が調印 「市民協働のまちづくりによる都市宣言」を制定
10月	東松島市合併5周年を記念した市民まつりが、市コミュニティセンターを会場に開催。市のイメージソングの初披露やセンター前に7本の石柱で構成する都市宣言塔が完成を記念した除幕式も行つた 合併5周年記念事業を兼ねた「五人講演会2010」の5人目の講師として、野村克也東北東洋リーグス監督が講演 「民謡の名付け親」と言われる野蒜大曲出身の後藤桃水(1880年~1960年)の偉業をたたえ、東松島市体育館で「第1回後藤桃水翁を偲ぶ民謡大会」が開催



◀新・石巻青果花き地方卸売市場が完成、初市式を行う(2010年1月)

2011年(平成23年)	
1月	第63回奉乾海苔品評会で最高賞の「優賞」に興漁漁協水産支所の津田千家氏出品の乾のりが選ばれ、皇室に献上される 大曲出身の力士 剛乃海が、大相撲初場所2回目の序二段優勝を挙げた
3月	3月11日(金)14時46分ごろ、三陸沖を震源として発生した東北地方太平洋沖地震(マグニチュード9.0)で東松島市では震度6強を記録。地震によって大規模な津波が発生し、野蒜地区では15時40分ごろに10.35mの高さの津波(第1波)が観測され、東北日本大震災。死者(東松島市民)1,109人(市外での死者含む)、行方不明者 25人<2015年(平成27年)3月現在>。津波による浸水直轄は市全体面積 101.86kmのうち37km <sup>2</sup> (約36%)、うち宅用地(市街地)12km <sup>2</sup> のうち8km <sup>2</sup> が浸水(約65%)。市内の避難所に多くの市民などが避難する(ピーク時約15,000人)。電気・水道はすべて使用不能。固定電話・携帯電話は通話不能となり、その回復はおおむね1か月程度かかる。市では災害対策本部を設置し、救助・捜索活動や避難者の対応に全力を尽くす
3月	死者が多数となり仮安置者数が600人に達して火葬が追いつかず、仮埋葬の実地を決定(市営墓地、場所:大曲引沢・旧南地区衛生センター跡地内)。仮埋葬者は最大で300人以上になる 懸命の救助・捜索活動が市内各所で展開。がれき撤去作業が本格的に開始。多くのボランティアが市内で活動開始 避難所となった市内小・中学校の卒業式が例年より遅れて行われる 「市民に開かれた」信頼される議会づくりに、さらなる改革」を柱とする東松島市議会基本条例が施行
4月	4月7日(木)23時32分ごろ、最大余震が発生。東松島市では、震度6弱(7.2)を記録。このころまでに市内全域のほとんどで回復しつつあった電気・水道が再び使用不能となり、固定電話・携帯電話の通話も一時通話不能。復旧水準までの回復に数日かかる 「市報ひがしまつしま」が、2回発行(1日号・15日号)・タブロイド版として、2011年(平成23年)4月15日号から発行開始 東松島市震災復興・復興指針を策定 在日アメリカ陸軍隊員が「トモダチ作戦」の一環としてJR石巻線野蒜駅で、がれき撤去作業を行う プレハブ型仮設住宅の建設(第1次)が急ピッチで建設 市内小・中学校の入学式が例年より遅れて行われる プレハブ型仮設住宅第1次が完成し入居を開始(8月末までに1,727戸が建設・入居が完了)
5月	デンマークからの支援金によるスクールバスが運行開始 2011チャレンジデーin東松島が震災の影響で開催できず、対戦相手の沖刺県南城市にて戦敗

東松島市震災復興基本方針を策定	
6月	デンマーク王国のフレデリック王子が来市し市内の小中学生たちと交流。東松島市への長期的な支援を約束 震災から100日の節目に、東日本大震災東松島市慰霊祭(場所:航空自衛隊松島基地整備格納庫)を執り行う 市災害対策本部が震災復興本部へ移行
7月	被災したJR石巻線の区間のうち、石巻~欠本駅間で運行を再開 東京都大田区と「災害時相互応援協定」を締結 市議会議長に五野井敏夫氏が、副議長に原節郎氏が就任
8月	ドイツ企業・ボッシュが、鳴瀬地区保育所や市民センター・消防団詰所などの仮施設となるコンテナハウスを寄贈 東松島元氣フェスタが開催(ブルーインパルス展示飛行・打ち上げ花火・夏祭りなど) 仮設住宅の建設・入居完了に伴い、市内の全避難所を閉鎖
9月	市健康増進センター「ゆづり」が、開館からの利用者が50万人目を達成 市内3つの大規模仮設住宅団地に復興仮設店舗がオープン 被災者サポートセンターが開設(市社会福祉協議会が運営受託)
10月	津波で運行不能となっていた大川大橋(東松島工業港欠本線)が仮設で運行再開 埼玉県東松山市と「災害時相互応援協定」を締結 山形県東根市と「友好都市協約・災害時相互援助協定」を締結
12月	東松島市復興まちづくり基本計画を議決 東松島市が政府の新城長戦略に位置づけられた「環境未来都市」に選定



▶デンマーク王国のフレデリック王子が来市し市内の小中学生たちと交流(2011年6月)

2012年(平成24年)	
1月	大曲浜獅子舞が復活し、舞を披露 野蒜小学校仮設校舎が小野地区の高齢者福祉施設敷地に完成し、授業開始 一部損壊以下の世帯を対象とした「ひがしまつしま震災復興舞踊券」を配布 被災したJR石巻線陸前赤井駅の新駅舎が完成
2月	法テラス東松島が開所 震災から1年の節目に、東日本大震災東松島市慰霊祭(場所:航空自衛隊松島基地整備格納庫)を執り行う 震災の影響で閉鎖していた東松島郷土歴史資料館が再オープン。開館20周年を迎える
3月	東京・銀座プロットで市内の被災者などが中心となり演じる、感謝のミュージカル「とびだす100通りのありがとう」を上演 被災したJR石巻線の区間のうち、欠本~陸前小野駅間で運行を再開 美里町と「災害時相互応援協定」を締結 矢本西保育所が開所。施設の老朽化と民間活力を導入した事業の見直しに伴い市立保育所としての47年の歴史を幕
4月	東松島市立学校給食センター(PFI事業)が完成し稼働 (私立)矢本西保育園・障害児デイケアセンター「こどもの広場」が開所 JR石巻線陸前大塚~陸前小野駅間の早期復旧に関する覚書を締結 松島町と「災害時相互応援協定」を締結 大崎市と「災害時相互応援協定」を締結 埼玉県東松山市と「災害時相互応援協定」を締結 教育長に元小学校長の工藤昌明氏が就任
5月	2012チャレンジデーin東松島が開催。被災自治体参加のため対戦はなし 市内の津波浸水域を中心に「津波防災区域」を指定。同区域内での建築制限や津波避難の目安となる 小野小学校でサッカー日本代表の岡崎慎司選手と酒井高徳選手によるサッカー教室が開催 東松島市建設業協会が災害廃棄物の木材を利用して育てたカトムシを希望する市内小・中学校、幼稚園・保育所の子どもたちに寄贈 「東松島市復興整備計画」と市内における防災集団移転促進事業等の移転先などの視察が決定
7月	東松島市総合防災訓練を実施 平成24年度環境未来都市フォーラムが開催 とっておきの音楽祭in東まつり2012が開催 大曲浜地区で震災慰霊碑が完成(大曲浜地区委員会建立)
8月	東松島夏まつり2012、第90回東松島市鳴瀬流灯花火大会が2年ぶり開催 鳴瀬地区小・中学校の統合校開設に向けて、小野・浜市小中学校の統合校名が「鳴瀬桜南小学校」に、鳴瀬第一・第二中学校の統合校名を「鳴瀬未来中学校」とする条例案が市議会にて可決
9月	「環境未来都市」構想の実現に向け、産・学・官・民の連携を強化する一般社団法人東松島みらいし機構(愛称:HOPE)が設立 シュトゥットガルト室内管弦楽団 東松島市公演が開催 岐阜県美濃加茂市と「災害時相互応援協定」を締結
11月	公益社団法人セーブ・ザ・ワールド・ジャパンとエポック・テクノザ・ジャパン(株)の復興支援により、新しい矢本東保育所が市図書館東隣に完成

▶大曲浜獅子舞が復活し、舞を披露(2012年1月)



2013年(平成25年)	
1月	第89回箱根駅伝(東京箱根間往復大学駅伝競走)に出場した青山学院大学4年(当時)の高橋宗司選手(野蒜出身)が8区(復路)区間賞を獲得 第65回奉乾海苔品評会で、最高賞の「優賞」に興漁漁協水産支所の手代大進二氏出品の乾のりが選ばれ、皇室に献上される
2月	宮戸浜地区の小正月行事「かえり」のりを継承する保存会の取組みが日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」に選定 東松島市地域防災計画(原子力災害対策編)を策定。福島第一原子力発電所事故を踏まえ、女川原子力発電所からおおむね30km圏内が「緊急時防護措置を準備する区域(LPZ)」に指定されることになり、市内の大半がLPZ範囲内に含まれる 国土交通省が大曲・赤井両地区の三陸自動車道の斜面を利用して6カ所に津波を進めたい、津波避難階段の整備が完成
3月	震災発生から2年の節目に、平成25年東日本大震災東松島市慰霊祭(場所:東松島市民体育館)を執り行う 滝山公園に慰霊碑(寄贈)が完成 震災の影響で九州に一時避難していた航空自衛隊アクトバト飛行チーム ブルーインパルスが航空自衛隊松島基地に帰還。帰還にあわせて、1BS日曜ドラマ「空飛ぶ広報隊」<4~7月放送>で、松島基地など市内でのロケ(収録)が行われる 東松島「絆」カーポートソーラー(カーポート型太陽光発電設備)が市コミュニティセンター・農家の森運動公園・大曲市民センターの3カ所に設置に完成 鳴瀬地区4小・中学校(小野・浜市小、鳴瀬第一・第二)が開校
4月	「鳴瀬桜南小学校」「鳴瀬未来中学校」が開校。鳴瀬桜南小学校の校歌は作曲家を作家の松井五郎さん、作曲を歌手の中村雅俊さんが、鳴瀬未来中学校の校歌は歌手の加藤紀子さんが制作 任期満了に伴う東松島市長選挙で現職の岡部秀保氏が無投票再選(3期)。また、任期満了に伴う東松島市議会議員選挙では18人が当選 市議会議長に滝健一氏が、副議長に上田勉氏が就任
5月	チャレンジデー2013in東松島が開催。鹿児島県奄美市に惜敗 乙武洋匡さん(作家・タレント)を講師に五人講演会ファイナルが開催され、聴取59年の第1回から旧大曲時代を通じて長きにわたり開催された五人講演会の歴史に幕 とっておきの音楽祭in東まつり2013が開催 東松島市総合防災訓練を実施
7月	宮戸・月浜海水浴場が3年ぶり日曜限定でオープン(〜8月) 「東松島食糧ごみリサイクル」が第1回プラチナ大賞、イノベーション賞を受賞
8月	東松島「絆」ソーラーパークが完成 東松島夏まつり2013、第91回東松島市鳴瀬流灯花火大会が開催
10月	震災により休止していた鳴瀬深遠遊覧船が「東松島遊覧船」として再開 乗り合いタクシー「くらくろ」の利用者が10万人を達成
11月	東松島選挙区選出の選挙権者宮城県議員が、県議会副議長に就任(任期2年)

2014年(平成26年)	
1月	第66回奉乾海苔品評会で、最高賞の「優賞」に興漁漁協水産支所の石田久氏の出品の乾のりが選ばれ、皇室に献上される 「東松島ふるさと復興大賞」を創設
2月	愛知県小牧市・清須市・北名古屋市・豊山町と「災害時相互応援協定」を締結 震災発生から3年の節目に、平成26年東日本大震災東松島市慰霊祭(場所:東松島市民体育館)を執り行う 「東松島市東日本大震災記録誌」を発行 大曲浜保育所が開所し、大曲保育所に統合 津波監視カメラを市内沿岸4カ所に設置・本格運用開始
3月	震災の教訓を後世に伝える石碑「津波の教える石」が牛嶺地区センター敷地内に建立 野蒜新町に震災犠牲者を慰霊し地域の平穏を願う「地蔵像」が建立 愛知県豊田市と「災害時相互応援協定」を締結 市内で最初の災害公営住宅となる市営小松南住宅など254戸の入居開始にあたって、市営小松南住宅にて災害公営住宅の鍵引渡し式を開催
5月	震災の教訓を伝える慰霊碑が浜市に建立 旧野蒜駅舎が野蒜地区交流センターとして地域交流施設に改装 2014チャレンジデーin東松島が開催。鹿児島県奄美市に惜敗 平成22年の初参加以来、参加4回目での初勝利となる
6月	東松島市総合防災訓練を実施 集団移転先5団地166戸が完成し、宅地引き渡し式を開催 一般社団法人東松島みらいし機構(愛称:HOPE)などが、アメリカ海洋大気庁が開発した科学地球儀を日本で初めて展示する施設「ディスプレイセンター」を小野地区に開設
7月	とっておきの音楽祭in東まつり2014が開催。開催10周年を迎える 東松島夏まつり2014、第92回東松島市鳴瀬流灯花火大会が開催 「東松島食糧通信」が創刊(年4回発行) 福岡県豊前市と「災害時相互応援協定」を締結
10月	副市長に市復興政策部長の古山守次氏が就任 シュトゥットガルト室内管弦楽団 東松島市公演が開催 東北地方の自治体で広報業務に携わる職員が一堂に会し、復興を支える自治体広報のあり方などを意見交換をする「第20回東北広報サミット」が開催
11月	飾り金具付き袴帯とよばれる古代のベルトが奈良・平家期の矢本横穴墓群から出土 東松島一新 3DAYSが開催
12月	宮戸・野蒜小の統合小学校の名称が、両校区内の住民などによる投票で「宮野森小学校」を選出

2015年(平成27年)	
1月	第91回箱根駅伝(東京箱根間往復大学駅伝競走)に出場した青山学院大学4年(当時)の高橋宗司選手(野蒜出身)が8区(復路)区間賞を獲得し、同大学の総合優勝に大きく貢献 原子力防災訓練を実施。初めて市民向けに屋内避難訓練と避難訓練に取り組み
3月	震災発生から4年の節目に、平成27年東日本大震災東松島市慰霊祭(場所:東松島市民体育館)を執り行う 市民フォーラム「あしは行く 私たちのまち東松島」が開催 天皇・皇后両陛下が東松島市を御訪問
4月	市制施行10周年 市消防団で「機能別消防団制度」を導入

# 東松島市 10年の歩み



2005年(平成17年)	
4月	矢本町・鳴瀬町の2町合併による東松島市が誕生(市長職務執行者に成瀬孝志日職副市長) 市役所の組織は「課・係」制でスタート 「広報東松島」の発行開始(毎月1回、1日発行、A4版、全紙面カラー) 東松島市健康増進センター「ゆぶと」(市指定管理施設)がオープン 県立高校の再編計画に伴い「東松島高校」(単位制)が開校 東松島市長選挙で元矢本町議会議長の岡部秀保氏が初当選(1期)。また、東松島市議会議員選挙では26人が当選
5月	市助役に市総務課長の石山賢吉氏、収入役に元矢本町収入役の加藤義典氏、教育長に元中学校長・県教育委員の佐々木寛氏が就任 市議会議長に三浦昇氏が、副議長に渡邊裕氏が就任 第10回日本三景松島国際ツーデーマーチが松島町および野蒜海岸や宮戸を中心に開催 奥松島縄文村歴史資料館の入館者が30万人を達成
7月	東松島市誕生記念として、奥松島体育館を会場に「NHKのど自慢」が公開生放送される 第1回東松島夏まつりが開催 市章および市花「リウリン」、市木「マツ」が決定
8月	第84回東松島市鳴瀬流灯花火大会、第51回航空祭が開催 市図書館の読み聞かせボランティア「おはなしのはなはな」が、第8回読書コミュニティフォーラム全国大会(読書コミュニティネットワーク主催)において、第1回読み聞かせボランティア大賞の奨励賞を受賞
9月	市と県の共催による「9・11総合防災訓練」を実施 矢本西小学校東側を通る県道矢本河内線と、市道南浦54号線から北沢官舎南側を通り国道45号へと接続している都市計画道路矢本流留線とを直結させる「矢本アンダーパス」が開通 3月/9月まで、愛知県で開催された国際博覧会で「愛・地球博」で、東松島祭の世界最先端技術「ナノバブル」が展示される
10月	松島基地周辺まちづくり協議会策定支援事業(仮称)ブルーインパルス・ミュージアム構想を正式に断念 第1回東松島市民文化祭が開催(10月22日~11月6日) とっておきの音楽祭in東まつしま2005が開催
11月	市制施行記念式典、北海道更別村との友好姉妹姉妹締結調印式を開催



▶第1回東松島市民文化祭が開催(2005年10月~11月)

2006年(平成18年)	
1月	第58回奉祝乾海苔品評会で最高賞の「優賞」に澤田誠氏、最高賞に準じる「準優賞」に津田洋家穂氏(両氏はともに矢本町漁協所属)出品の乾のりが選ばれ皇室に献上される
2月	市キャラクターを公募し、全国から641点の高齢者の中から、鳥取県の上原順子さんが高齢者の「イート」を決定 宮戸月浜の小さな月行事「あずみのわり」が国の重要無形民俗文化財に指定される 野蒜築港120年フォーラムが開催
3月	地方自治体を取り巻く環境変化や市の財政状況の危機的状況を、市職員・農業者などが意識共有する行政改革推進大会が開催。また、市では「行政改革大綱」と「行政改革推進中改革プラン」を策定し、財政健全化へ動き出す
5月	第1回東松島国際ツーデーマーチが、野蒜海岸や宮戸を中心に開催 衛生施設庁(当時)が、飛行回数の半減などを理由に航空自衛隊松島基地周辺の第一種区域(住宅防音工事対象区域)などの見直しに関する方針を発表。市は、住宅防音工事および機能復旧工事の助成などで市民生活に重大な影響があるとして区区域小について反対の立場を取る
6月	東松島市総合防災訓練を実施 東松島市健康増進センター「ゆぶと」の入館者が10万人を達成 北海道更別村と災害時相互応援協定を締結
7月	全日本クラブ男子ソフトボール選手権大会が従来の森運動公園で開催
8月	第85回東松島市鳴瀬流灯花火大会、第2回東松島夏まつり、第52回航空祭が開催
9月	とっておきの音楽祭in東まつしま2006が開催 市助役(2007年(平成19年)4月以降は副市長)に市福祉課長兼社会福祉事務所の長の大沼雄吉氏が就任
10月	宮戸クリニックが開院 全国マコモサミットin東松島2006(ジザン水生植物研究会主催)が開催
11月	テレビ朝日系列・土曜ワイド劇場のシリーズ「ばっかや診療所事件カルテ6」のドラマロケ撮影が、宮戸月浜など市内各所で行われる ※本放送は翌年2月17日(土)夜9時~
12月	国は、官報にて航空自衛隊松島基地周辺の第一種区域(住宅防音工事対象区域)指定の一部解除告示を行う。市は、この告示が市民の意向を反映されていないとして遺憾の意を表明 既存の老朽化対策と交通流解消のため、大曲浜地区で整備されていた大曲浜新橋が完成

▶大曲浜新橋が完成(2006年12月)



2007年(平成19年)	
1月	第59回奉祝乾海苔品評会で最高賞の「優賞」に矢本町漁協所属の三浦一徳氏出品の乾のりが選ばれ皇室に献上される 東松島日韓友好協会と韓国・ソウル市の私立文英女子中が進める相互国際交流事業が開催。多くの韓国の中学生が来市し、交流
2月	公立深谷病院(石巻市広瀬)の経営悪化による累積債務負担問題で、病院組合を構成する一方の石巻市と約5億円の債務負担割合合意をめぐって対立。本市は病院組合規約で定める運営費負担割合に基づき50%の負担を要求。両市間の意見の隔たりは大きいため合意は得られず、仙台弁護士会・紛争解決支援センターでの裁判外紛争解決手続(ADR)による調整の結果、東松島市30%石巻市70%の負担割合案が提示され、この案で両市が合意 市キャラクター「イート」の着ぐるみ(第1弾)が本格的に活動開始 三冠自動車通鳴瀬流灯花火大会と国道45号・県道の入ムズな接続を目指して鳴瀬川と吉田川に架けられた「東松島大橋」が完成
3月	公立深谷病院(石巻市広瀬)が五所沢市の医療法人啓仁会への経営移譲が決定し、公立の地域総合病院として地域医療を担ってきた54年の歴史に幕 「心輝き 自然輝く 東松島」を目指し、東松島市総合計画がスタート。総合計画では、10年計画の基本構想、5年計画の基本計画、3年計画の実施計画を策定 市役所の組織が従来の「課・係」制から「課・課」制に移行 「広報東松島」が「市報ひがしまつしま」(毎月1回、1日発行、A4版、全紙面モノクロ)として4月号から発行開始 「市民協働のまちづくり」の導入を見据え、市内8地区公民館を「市民センター」に移行 大曲に新しい市一般廃棄物最終処分場が完成。燃ごみなど約15年分の埋立可能
4月	市議会議長に佐藤富夫氏が、副議長に多田龍吉氏が就任 第2回東松島国際ツーデーマーチが、野蒜海岸や宮戸を中心に開催 東松島市健康増進センター「ゆぶと」の指定管理受託業者が受託辞退したことに伴い、改めて選定された業者での営業態様が決定
6月	東松島市総合防災訓練を実施 矢本横穴墓群発掘調査で、横穴から火葬骨が入っているとみられる大小二個の「短頸甕(たんけいづゑ)」が発掘
7月	石巻青葉花き地方卸売市場の移転先として赤井南3地区に決定 東松島夏まつり2007、第86回東松島市鳴瀬流灯花火大会、第53回航空祭が開催 嵯峨深遊覧船(株)松島公社運営)の乗船者が30万人を突破
8月	医療法人啓仁会へ経営移譲された旧公立深谷病院(石巻市広瀬)が「石巻ICイルパル病院」として診療開始
9月	県の特別公募松島市世界遺産登録の「暫定リスト」入りを文化庁に申請する提案に対し、市民の松島保存管理計画を改定する策定委員に地域住民らを入れることなど案内容に同意 とっておきの音楽祭in東まつしま2007が開催 仙台・宮城プレイステーションキャンペーン(DC)がスタート(〜12月未定)
10月	粗大ごみ収集・受入が有料化



▶嵯峨深遊覧船(株)松島公社運営)の乗船者が30万人を突破(2007年8月)



▶新しいまき豊松島地区カントリーエレベーター「東松島」が大曲に完成(2008年4月)



▶新たな公共交通機関として乗り合いタクシー「らくらく号」の運行(実証(試験)運行)を開始(2009年7月)

2008年(平成20年)	
1月	第60回奉祝乾海苔品評会で最高賞に準じる「準優賞」に矢本町漁協所属の津田誠氏出品の乾のりが選ばれ、皇室に献上される 三陸自動車道の鳴瀬奥松島-石巻間にトンネルが無料化。すでに無料区間となっている石巻河内-松山間に間とあわせて、鳴瀬奥松島IC以北が無料区間として走行可能 奥松島縄文村歴史資料館開館15周年記念縄文村シンポジウムが開催 みなとの賑わい創出記念シンポジウム「未来へ引き継ぐ野蒜築港」が開催 平成19年度県民意識調査で、新たに貝塚と海岸線の痕跡を発見 県立高校の再編計画に伴い矢本高校(定時制)の閉校と定時制最後の卒業式が開催
2月	矢本第一中学校新校舎が完成 野蒜大曲出身の力士 剛乃海が、大相撲大坂場所で序二段初優勝を果たす
3月	教育長に元中学校長の木村民男氏が就任 東松島市防災マップ(津波、地震)を作成 期限切れとなったガソリン増徴税率など道路特定財源問題に関連して、東松島市議会議員の選出が一時的に滞り、いしのみき豊松島地区カントリーエレベーター「東松島」が大曲に完成
4月	家庭ごみにおける「容器包装プラスチック」の分別収集がスタート。収集された容器包装プラスチックは固形燃料の原料となる。このころ、石巻広域クリーンセンターに処理能力を超える大量のごみが投入され、リサイクル意識の浸透と燃ごみの減量化が大きな課題になる 宮戸月浜に「さとま縄文の歴史公園」が完成 第3回東松島国際ツーデーマーチが、野蒜海岸や宮戸を中心に開催
6月	東松島市食産組合が、仙台・宮城フェアステーションキャンペーン(DC)を盛り上げようと、カキなどの地元産の魚介類や野菜をふんだんに使った各店オリジナル創作料理「海ぞく鍋」を発表 矢本横穴墓群の発掘調査で、県内では初めての国内最古の流注跡とみられる古銭「和同開珎」が出土 東松島市総合防災訓練を実施
7月	第45回宮城県消防法大会で東松島市消防団がポンプ車操法の部で優勝 東松島夏まつり2008、第87回東松島市鳴瀬流灯花火大会が開催 野蒜海岸南側の溜け浦付近に大量の砂が堆積し漁船等が行っているに支障があった問題で、管理する奥石巻港事務所が行っていた漂砂対策緊急工事が完了
8月	アサリの天敵となるサギロタマムシ(サギロ)が潮干狩りに最適な海洋の浅瀬で繁殖・大量発生し問題化。市内の漁協協同組合員などが、手で一個ずつ駆除する作業を行う とっておきの音楽祭in東まつしま2008が開催 仙台・宮城フェアステーションキャンペーン(DC)がスタート(〜12月未定)
9月	委嘱した民間人による市内への企業誘致が成功すれば報酬金を支給する「企業立地推進員制度」を開始 市議会議員全員協議会で、来年春に行われる市長選・市議選での選挙運動費用の公費負担を見送ることで大筋合意 村井隆造副知事が県内の企業や各種団体などを訪ねる「みやぎの現場訪問」で、市内の大倉工業松島工場などを視察 「縄文シティサミットinひがしまつしま」が開催 松くい虫被害で減少した矢本海浜緑地に約2千本の抵抗性クロマツの苗木を植樹する「大曲ボンディアの森植樹事業」が実施
11月	

2009年(平成21年)	
1月	東松島市市民憲章が制定 第61回奉祝乾海苔品評会で最高賞の「優賞」に具瀬協矢本支所所属の相沢太氏、最高賞に準じる「準優賞」に具瀬協宮戸支所所属の土佐勝郎氏出品の乾のりが選ばれ皇室に献上される 過去数年の自殺率が県内の市で最悪となっていることを受け、市民の自殺防止を目的とする市職員向け研修を初めて開催 漁業者らが研究成果や活動事例を発表する第14回全国青年・女性漁業者交流大会で、最高賞の農林水産大臣賞に矢本漁協浅海漁業研究会が選ばれる
2月	前年9月から25メートルプールが破損し使用不可となっていた東松島市健康増進センター「ゆぶと」の通常営業が再開 「市民協働のまちづくり」が本格的にスタート。市内8地区自治協議会が、それぞれの地区の「市民センター」の指定管理を行う
3月	任期満了に伴う東松島市長選挙で現職の岡部秀保氏が無投票再選(2期)。また、任期満了に伴う東松島市議会議員選挙では22人が当選 市議会議長に佐藤富夫氏が、副議長に五ノ井整一氏が就任 第4回東松島国際ツーデーマーチが、野蒜海岸や宮戸を中心に開催
4月	東松島市総合防災訓練を実施 新たな公共交通機関として乗り合いタクシー「らくらく号」の運行(実証(試験)運行)を開始
5月	宮戸コミュニティ推進協議会まちづくり委員会が、新たな観光バスとして地区内の8カ所を「新・宮戸入里」に選定
6月	東松島夏まつり2009、第88回東松島市鳴瀬流灯花火大会が開催 奥松島公社が、宮戸松ケ島の嵯峨深遊覧船案内所隣に焼きガキ販売所(かき小屋)を開業
7月	
8月	
9月	
10月	

# 東松島市被災住宅再建支援事業等(拡充)のお知らせ

平成27年度申請受付開始日  
 4月15日(水)～  
 (電話予約開始日 4月6日(月)～)

市では、東日本大震災により被災した住宅の再建支援事業を実施しています。

平成27年4月より被災者の住宅再建を推進するため、建設購入経費および、住宅補修経費の補助金額を拡充します。

拡充の内容は、建設購入経費の津波防災・浸水区域補助額を完了年度別に300万円～350万円に、非浸水区域・転入者の補助額を150万円に、補修経費の補助額を防災区域は150万円、浸水区域は100万円に増額します(金額は、いずれも上限額)。

また、利子補助対象者に関しては、利子補助と経費増額分の併用が可能となります。

東松島市内で、再建した方が拡充の対象となります。

すでに補助済の方には差額分を交付します。交付対象者には順次、市より申請書類等を送付しますが、申請件数が多いことから、お待たせする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 補修申請期限のお知らせ

補修(修繕)の補助申請は、平成28年3月31日で終了となりますので、まだ申請されていない方は早めに申請してください。

## 表.再建支援内容(金額はいずれも上限額)

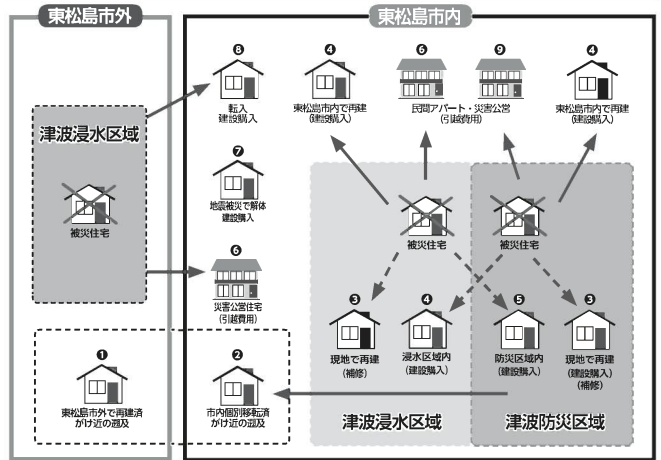
再建方法(再建先)	支援区分	東日本大震災で被災した当時の住所				拡充箇所				
		津波防災区域	引越	津波浸水区域	市内非浸水区域または市外浸水区域					
建設購入	市内津波防災区域	経費補助	平成23年度完了	300万円	—	平成24年度完了	300万円	150万円(⑦⑧)		
			平成24年度完了	320万円					平成24年度完了	320万円
			平成25年度以降完了	350万円					平成25年度以降完了	350万円
	利子補助	建設利子補助	300万円	—	建設利子補助	300万円				
		建設経費の併用(利子補助+経費増額分)	経費増額分		建設経費の併用(利子補助+経費増額分)	経費増額分				
		平成23年度完了	100万円		平成23年度完了	100万円				
	市内津波防災区域外	経費補助	平成23年度完了	300万円	80.2万円	平成23年度完了	300万円	150万円(⑦⑧)		
			平成24年度完了	320万円		平成24年度完了	320万円			
			平成25年度以降完了	350万円		平成25年度以降完了	350万円			
		利子補助	かけ地近接等危険住宅移転事業の波及	78万円	—	建設利子補助	300万円			
建設利子444万円、土地取得利子206万円、敷地造成利子58万円			80.2万円	建設経費の併用(利子補助+経費増額分)		経費増額分				
かけ地近接等危険住宅移転事業(事前申請)				平成23年度完了		100万円				
建設利子457万円、土地取得利子206万円、敷地造成利子59.7万円			平成24年度完了	120万円						
補修 ※賃借人による借家・アパートの補修は対象外	経費補助	経費補助	150万円	—	経費補助	100万円	—			
		利子補助	200万円		利子補助	100万円				
東松島市内の民間賃貸住宅・災害公営住宅へ入居	引越補助	かけ近事業・防災事業(事前申請)	80.2/78万円	—	引越補助	10万円	10万円(⑥)			
		建設利子補助(土地)	100万円		建設利子補助(土地)	100万円				

(注)1 経費補助は経費(建設購入費・補修費)から、被災者生活再建支援制度の加算支援金を控除した費用が対象です。  
 (注)2 各完了年度は、建物の登記事項証明書(全部事項証明書)における[登記の日付]となります。  
 (注)3 防災集団移転事業、かけ地近接等危険住宅移転事業の申請者で、対象となる方には市からご案内します。  
 (注)4 市内の災害公営住宅への引越補助は、市内・市外の非浸水区域の方も対象となります。

### ※例※

- 建設・購入 表題部の[登記の日付]が平成23年12月1日の場合は、完成年度が平成23年度です。  
 借入をした場合 ⇒ 平成23年度完了  
 建物利子補助300万円+経費増額分100万円=補助上限額400万円  
 借入をしない場合 ⇒ 平成23年度完了  
 経費補助200万円+経費増額分100万円=補助上限額300万円
- 補修 ～防災区域内～  
 借入をした場合 ⇒ 利子補助200万円+経費増額分50万円=上限額250万円  
 借入をしない場合 ⇒ 経費補助100万円+経費増額分50万円=上限額150万円  
 ～浸水区域内～  
 借入をした場合 ⇒ 利子補助100万円+経費増額分50万円=上限額150万円  
 借入をしない場合 ⇒ 経費補助 50万円+経費増額分50万円=上限額100万円

図1 被災住宅再建支援事業のイメージ図



(注)①⑥⑨は、拡充策の対象外です。

## 被災時の要件

- 震災発生時、市内の津波防災区域(建築制限区域)または市内外の津波浸水区域に居住していた方のうち、全壊・大規模半壊・半壊のり災判定を受けた方
- り災判定が半壊以上で、当時居住していた住宅を解体した方(図⑦)

## 再建の要件

- 市内で住宅を建設購入または補修する方(図③④⑤)
- 市内の津波浸水区域に居住していた方のうち、仮設住宅などに避難し、世帯全員が定住先として市内の民間賃貸住宅を賃借する方、または市内外で被災し市内の災害公営住宅に入居する方(図⑥⑨)
- 市内の津波防災区域に居住していた方のうち、かけ地近接等危険住宅移転事業(以下、「かけ近事業」)の波及適用の対象となる方(図①②)  
 ※かけ近事業の波及適用で、市外で再建した方は、拡充策の対象外です。(図①)
- 震災の地震被災により住宅を解体し、市内で住宅を建設購入された方(図⑦)

## 被災住宅再建支援事業等の支援内容(拡充策の対象外含む)

- 津波被災住宅の再建支援事業:津波被災の方が市内で住宅再建する場合 ⇒表.再建支援内容(表③④⑤)
- かけ近事業の波及適用:津波防災区域の方が平成25年6月30日までにかけ近事業の一部または全部の補助を受けずに津波防災区域外で住宅再建を開始した場合 ⇒建設利子等補助最大708万円、引越費用上限78万円(表①②)
- 市内の防災区域内で被災し、民間賃貸住宅または災害公営住宅に入居する場合 ⇒引越費用 上限80.2万円(表⑨)
- 市外で津波により被災し市内で住宅再建する場合 ⇒上限150万円(表⑧)
- 震災の地震により住宅を解体し、市内において住宅を建設購入した場合 ⇒上限150万円(表⑦)
- 市内(防災区域外)または市外で被災し、市内の災害公営住宅へ入居する場合 ⇒引越費用 上限10万円(表⑥)

## 申請方法

- 【まだ申請されていない方】  
 申請は完全予約制で受付します。電話で予約のうえ窓口にお越しください。  
 (予約受付:平日9時～17時)
- 【申請済で拡充対象の方】  
 順次、市よりご案内を送付します。(郵送受付)

## 申請の際に添付が必要なもの(まだ申請されていない方)

- (1)災証明書(原本)
- (2)補助金振込先の預金通帳(申請者名義の口座)
- (3)手続きに来る方の身分証明書
- (4)印鑑(認印可、スタンプ不可)
- (5)住宅の建設購入または補修に係る契約書(原本)と領収書(原本)  
 ※補修の場合で契約書がない場合は、工事内容がわかる請求書・見積書・工事内訳書の原本など。

## 建設・購入の申請の場合

- 取得した家屋と土地の登記事項証明書(原本)  
 ※家屋が未登記の場合は、建築完了検査済証
  - 利子補助を申請する方(建設・購入、補修)
  - 金銭消費貸借契約書(ローンの契約書、原本)  
 ※特約書等がある場合は、特約書等もお持ちください。
  - 返済予定明細書(原本)
  - 地震被災住宅の再建補助を申請する方(建設・購入)
  - 被災住宅の閉鎖事項証明書(登記)または環境課で発行した解体証明書(本市に解体工事を依頼した場合)
- 問 生活再建支援課生活再建支援班 ☎82-1111 内線1492



# まちの情報広場

問い合わせ 東松島市役所 ☎82-1111  
代表FAX 0225-82-8143  
(東松島市内での固定電話の市外局番 0225)

## 住民異動があったら 手続きをしましょう



表1 住民異動などの届出一覧表

こんなとき	種類	届出期限	手続きに必要なもの
ほかの市町村から転入したとき	転入届	引越してきた日から14日以内	1. 届出届(前住所地) 2. 届出人の印鑑 3. 国民年金手帳(加入者) 4. 本人確認ができるもの
ほかの市町村に転出するとき	転出届	引越す前、または引越してから14日以内	1. 届出人の印鑑 2. 国民健康保険証(加入者) 3. 印鑑登録証(カード) 4. 本人確認ができるもの
市内で住所が変わったとき	転居届	転居した日から14日以内	1. 届出人の印鑑 2. 国民健康保険証(加入者) 3. 本人確認ができるもの
世帯主や家族構成が変わったとき	変更届	変更の日から14日以内	1. 届出人の印鑑 2. 国民健康保険証(加入者) 3. 本人確認ができるもの

※申請人は本人・同じ世帯の方または代理人(代理人は代理選任届または委任状が必要)。右の例を参照。  
※住民基本台帳カードをお持ちの方は、届け出る際にカードの提示をしてください。カードを利用した手続きが可能です。  
※引越の際に必要となる住民異動届以外の手続き(乳幼児医療費、児童手当、国民健康保険、転校などの手続きは、転出前の市区町村の担当窓口で行ってください)  
※郵便物の届け先の変更には、郵便局への転居届の提出が必要です。

### 生活に必要な手続きはお済みですか ～市外へ転出する皆さん、市内へ転入する皆さんへ～

電気・水道など、生活に必要な手続き(新規加入・契約変更・廃止など)に関する主な手続きを紹介します。詳しい内容は、問い合わせください。

項目	問い合わせ先
電気	東北電力(お申し込み)アンペア変更コールセンター ☎0120-175-266 <a href="http://www.tohoku-epco.co.jp/">http://www.tohoku-epco.co.jp/</a>
水道	石巻地方広域水道企業団お客様センター ☎0225-96-4955
ガス	契約している(しようする)ガス販売店
固定電話	NTT東日本 コールセンター ☎116(両番方) <a href="http://web116.jp/phone/index.html">http://web116.jp/phone/index.html</a>
NHK受信料	NHK(お支払い)センター ☎0120-151515 <a href="https://p.dnhk.co.jp/jushin/yof/">https://p.dnhk.co.jp/jushin/yof/</a>
運転免許証	宮城県運転免許センター ☎022-373-3601 石巻運転免許センター ☎83-6211

震災による一時避難などで、実際に住んでいる所と住民票上の住所が異なる方は、「住民異動」の手続きが必要です。

表2 印鑑登録・印鑑証明書の  
交付に関する手続き

種類	申請人/手続きに必要なもの	手数料
印鑑登録	1. 登録する印鑑 2. 官公署が発行する顔写真付の身分証明書(免許証など) ※身分証明書のない方は即日交付できませんが、市内で印鑑登録している方が実印とカード、身分証明書を持参し、保証人となることで即日交付が可能です	1件300円 (印登録は500円)
印鑑証明書の交付の申請	1. 印鑑登録証(カード)	1通300円

代理人選任届(委任状)の様式例

代理人選任届(委任状)

(代理人) 住所 氏名 生年月日

窓口に来る方を記入

私は上記の者を代理人と定め、下記事項の権限を委任します

記

1. 住民票の届出に関する事
2. 住民票の取得に関する事
3. 印鑑登録・廃止に関する事
4. 戸籍謄抄本の取得に関する事

平成 年 月 日

委任者 住所 氏名 生年月日 電話番号

必要の方を記入

4月、入学・就職・転職などで引越しをする人が多くなる異動の季節です。  
ここでは、住民異動に必要な手続きについて簡単にお知らせします。

**市内・外に転入・転出する方は異動届を忘れずに**

住所を異動した方は、正しい届出を行わないと、市からのお知らせが届かないことがあります。  
(例)児童手当の給付や予防接種・検診のお知らせ、選挙の投票所入場券など)

左の表1に該当する方は、必ず期限内に市民課または鳴瀬総合支所へ届出ください。

また、届出は本人または同じ世帯の方が届出(必ず本人確認できる免許証などを持参)してください。それ以外の方が来るときは、代理人選任届(委任状)【左の様式例参照】と代理人の印鑑と、代理人の身分証明(免許証など)が必要になります。

なお、転入や転居の届出は、住み始めてから14日以内をお願いします。

4月、市民課の窓口が混み合います。速やかな処理を心掛けていますが、待ち時間が長くなること予想されますので、時間に余裕をもつて来庁してください。  
4月2日(木)の平日の19時まで、各証明書の交付や住所・国保異動の届出も受け付けますので、ご利用ください(本庁舎のみ)。

なお、異動を伴う届出で内容確認ができない場合、後日改めて届出してもらうこともありますので、ご承知ください。

4月、入学・就職・転職などで引越しをする人が多くなる異動の季節です。  
ここでは、住民異動に必要な手続きについて簡単にお知らせします。

**窓口時間の延長サービスを利用ください**

問 市民課窓口サービス班 ☎内線1123・1125

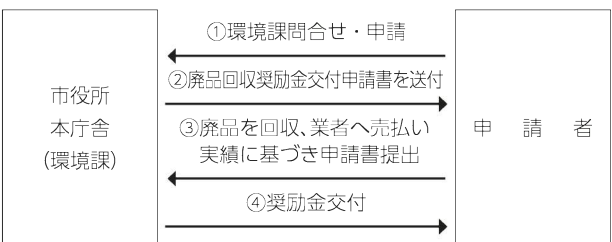
## エンジョイ!かんきょうライフ 廃品回収実施団体への奨励金交付のお知らせ

家庭から出る資源ごみは、市で毎週回収していますが、市民皆さんの手で「資源回収」を行ってみませんか。

市では、廃品回収を行った団体に、回収した重量に応じ「廃品回収奨励金」を交付しています。昨年度は、市内の子供会や自治会・中学校など44の団体が参加し、2月末時点で約420tを回収して、120万円を交付しています。

- 交付金額 1kgあたり3円、ビン1本あたり0.5円
  - 対象品目 紙類(新聞紙、雑誌、ダンボール)、ビン類(一升ビン、ビールビン、ジュースビン)、金属類(アルミ缶、スチール缶、鉄くず)など
- ※実施希望の方は、下記まで問い合わせください。

### 廃品回収奨励金申請フロー図



問 環境課環境班 ☎内線1155

## 平成27年度に出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届出される方へのお知らせ ～国税調査に伴う職業の記入をお願いします～

出生や死亡、死産があった場合や、婚姻、離婚をされた方にはそれぞれ「出生届」「死亡届」「死産届」「婚姻届」「離婚届」を市区町村の窓口提出していただいています。

この各届出について、5年に一度、国勢調査の行われる年度には、職業の記入(死亡届には産業の記入)もお願いしています。

- 対象 平成27年4月1日から平成28年3月31日までの出生、死亡、死産、婚姻、離婚の届出
- 調査方法 各届書の届出をされるときに、それぞれの職業を記入ください
- 記入例 ●医師・教員など…「専門・技術職」  
●一般事務員など…「事務職」  
●販売店員・営業職従業者など…「販売職」  
●美容師・ホームヘルパーなど…「サービス職」

届出をされる際、市役所の窓口にて「出生・死亡・死産・婚姻・離婚の届出をされる方へお願い(職業・産業例示表)」を用意していますので、参考のうえ、記入をお願いします。

不明な点や、詳しい内容は下記担当に問い合わせください。

問 市民課窓口サービス班 ☎内線1334

# まちの情報広場

問い合わせ 東松島市役所 ☎82-1111  
代表FAX 0225-82-8143  
(東松島市内での固定電話の市外局番 0225)

## 災害公営住宅入居者の募集

災害公営住宅の入居申し込みの受付を開始します。市内で、被災された方が対象ですが、市外で被災された方は、事前にご相談ください。

### ■募集内容

住宅・地区名	入居開始予定	形式	募集予定戸数	間取りタイプ				ペット
				1LDK	2LDK	3LDK	4K	
市営小野中央住宅	随時入居可	集合	1			1		
市営あおい住宅 (東矢本駅北地区)	平成28年5月～8月 ※1	2戸1	10		4	6	×	一部可
		集合	4	2	2			
小野駅前南地区	平成28年11月	戸建	1		1			一部可
野蒜北部丘陵地区	平成29年6月～11月 ※1	戸建	7		○	○	○	一部可
		低層集合 (2戸1、長屋)	20	○	○	○		一部可
宮戸(室浜)地区	平成28年	戸建	2		○	○		一部可
牛瀬地区	平成27年7月	戸建	2		1	1		
		2戸1	1	1				
柳の目北地区 (赤井)	平成27年8月	戸建	1				1	一部可
		集合	7	7				
小松沢田前地区	平成28年4月	戸建	18		12	6		一部可

注)間取りタイプ別欄に数字が入っているものが募集戸数です。

募集予定戸数は、変更になる場合があります。

※1)地区内で完成時期が異なるため、完成した住宅から順次入居となります。

■申し込み期間 4月9日(木)～4月30日(金)

■申し込み 入居資格を確認しますので、右記まで問い合わせください。

※入居資格は、必ず右記の【災害公営住宅の入居資格】をご覧ください。

■申し込み可能間取りタイプ(目安)

1人(单身)世帯=1LDK～2LDK、2人世帯=1LDK～2LDK、

3人世帯=2LDK～3LDK、4人世帯以上=3LDK～4K

## 災害公営住宅の入居に関する相談を開催【要予約】

東日本大震災で被災し、現時点で住宅再建が決定していない世帯を対象に、災害公営住宅入居に関する内容や入居資格についての相談受付を行います。

■対象 すでに災害公営住宅の入居申込済みの方を除いた、今後の再建に市内の災害公営住宅入居を希望する方

■相談日時 4月8日(水)までの平日  
午前:9時～12時、午後:13時～17時

■申し込み 下記まで、電話で申し込み

※完全予約制。入居仮申し込みを行うための事前相談になりますので、未申請の方は必ず相談を行ってください。



### 【災害公営住宅の入居資格】

東日本大震災により住居が全壊(全流失)された方、または住居が大規模半壊・半壊し、解体を余儀なくされた方で、現在定住できる住まいに困難している方です。

持ち家がある方や公営住宅に入居している方(ただし、応急仮設住宅として公営住宅に入居している場合や居住人数に間取りが適合せず困難しているなどの場合は除く)、申込者および同居を予定している人が暴力団員の場合などは、申し込みできません。

上記のほかに、連帯保証人1人(困難な場合は相談のうえ、緊急連絡人1人)が必要です。

■災害公営住宅の入居募集および相談予約の間

建設課復興住宅班 ☎内線2224・2225

## 4月から子ども医療費助成制度の所得制限を廃止します

市では、これまで子ども医療費助成制度で所得制限を設けていましたが、平成27年4月から所得制限を廃止し、15歳(中学校3年生修了)までのすべての児童を助成対象とします。

今まで交付申請手続きを行っていなかった方には、下記担当での交付申請手続きが必要になります。



なお、すでに交付申請手続きを行い、所得制限により非該当になっていた児童については、平成27年3月末に受給者証を郵送しますので、新たに申請手続きをする必要はありません。

■問 子育て支援課子育て支援班 ☎内線1184

## 市役所行政組織改編のお知らせ

4月1日(水)から、市役所内業務の見直しに伴い、既存の班の合併および異動が行われます。

変更内容は下記のとおりです。仮設住宅班の場所が本庁舎仮設庁舎1階から、本庁舎西側仮設事務所に、用地対策課が本庁舎西側仮設事務所から本庁舎仮設庁舎1階に変更となりますので、ご注意ください。

復興政策部市民協働課(3班・2班) 場所:本庁舎仮設庁舎1階

3月31日(火)までの名称など	4月1日(水)からの名称など	備 考
協働推進班	協働推進班	—
復興地域支援班	地域支援班	名称変更
仮設住宅班	—	移転対策部生活再建支援課へ異動

移転対策部生活再建支援課(2班・3班) 場所:本庁舎西側仮設事務所

3月31日(火)までの名称など	4月1日(水)からの名称など	備 考
生活再建支援班	生活再建支援班	—
移転支援班	移転支援班	—
—	仮設住宅支援班	復興政策部仮設住宅班から異動

市民生活環境課(2班→1班) 場所:市役所本庁舎1階

3月31日(火)までの名称など	4月1日(水)からの名称など	備 考
環境班	環境班	—
廃棄物対策班	—	環境班へ編入

## 固定資産の縦覧のお知らせ

平成27年度分の固定資産税の納税者が自己の資産の価格について、ほかの資産と比較できるよう、税務課備付け縦覧帳簿により市内全域の土地・家屋の評価額などが縦覧できます。

■縦覧期間 4月1日(水)～6月1日(月)

■縦覧場所 市役所税務課窓口(本庁舎1階)

■縦覧内容

<土地価格等縦覧帳簿>

- ・記載項目:所在・地番・地目・地積・価格
- ・縦覧できる人:東松島市内の土地に対する固定資産税の納税者

<家屋価格等縦覧帳簿>

- ・記載項目:所在・家屋番号・種類・構造・床面積・価格
- ・縦覧できる人:東松島市内の家屋に対する固定資産税の納税者

■縦覧時の注意事項 納税通知書や運転免許証など、本人確認ができるものを用意ください。また代理人として縦覧される方は委任状が必要です

■問 税務課固定資産税班 ☎内線1131～1134



## 東松島市内の放射線測定

市では現在、市役所本庁舎西側通用口付近に、国の放射線測定可搬式モニタリングポストを設置していることから、この測定結果を掲載します。

空間放射線線量率調査結果(市役所西側通用口付近 地上1m:午前8時現在)

測定月日	3月18日	3月19日	3月20日	3月21日	3月22日	3月23日
測定値(単位:μSv/h)	0.032	0.039	0.032	0.031	0.031	0.032

※原子力規制委員会のホームページでリアルタイムの測定結果を公表しています。

URL:<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

■問 環境課環境班 ☎内線1155

## 平成27年度 地域まちづくり交付金事業 一般提案・市制10周年記念事業募集

市では、市民の皆さんが積極的に様々な活動を行い、互いに助け合い、協力し合う「市民協働のまち」の実現を目指しています。その実現に向け、独自のアイデアと工夫を基に活動を行う団体および事業に活動費を交付します。また平成27年度は東松島市誕生より10年目の節目を迎えることから、「市制10周年記念事業」として多くの市民の一体感を高められる事業を募集します。

### ■対象事業

平成27年度に実施する、市民の皆さんが自発的に取り組む活動や事業で分野は問いません。

※ただし、次に当てはまるものは対象外。

- (1)政治活動・宗教活動または主に営利を目的とした事業
- (2)国や市などからの助成または委託を受け、重複助成を制限されている事業

### ■対象団体

下記の要件をすべて満たす団体

- (1)原則5名以上の団体であること
- (2)団体としての規約を有していること
- (3)東松島市民が参加またはメリットが受けられる内容であること

※団体の所在地の市内外を問わず。

### ■対象経費

交付金の対象経費の例は、次のとおりです。

- ①報償費等…講師や専門家への謝礼や交通費など
- ②需用費…印刷費、原材料費、消耗品購入費、燃料費など
- ③役員費…郵送料、保険料など
- ④使用料…会議室、機材等のレンタル料金など
- ⑤備品購入…設備・機器などの備品購入は交付金額の1/4以内
- ⑥その他…事業の性質上必要と認められる経費 ※別途相談ください。



▲26年度事業対象となった、上町西地区三角公園イルミネーションの様子

### ■募集区分

交付金の区分は次のとおりです。なお、同じ事業活動で双方の区分には応募できません。

区分	市制10周年記念事業	一般提案事業
事業内容	「市制10周年記念事業」の冠を標記し、記念事業をとおして多くの市民が参加・協力・交流し市民の一体感を高められる事業	市民の皆さんが自発的に取り組む活動や事業
交付上限額	40万円	20万円
交付率	80% (事業費の20%は団体負担)	100% (事業費全額を交付)
予算額	200万円	120万円
募集期間	5月1日(金)～6月1日(月)	4月8日(水)～5月8日(金)
事業期間	7月1日(水) ～平成28年2月29日(月)	6月1日(月) ～平成28年2月29日(月)
審査日時	6月25日(木)18時30分～	5月21日(木)18時30分～
備考		新規・継続事業を問わず。ただし審査段階で新規事業を優先。

### ■提出方法

申請書、事業計画書、総会資料などの写し、任意で提出したい資料を下記担当へ持参ください。



▲審査の様子

### ■審査

審査日に、プレゼンテーション形式により事業審査を行い交付の可否を決定します。申請者から事業についてのおおむね5分程度でPRしてもらいます。申請書様式などは市ホームページをご覧ください。ただか担当まで問い合わせください。

■問 市民協働課協働推進班 ☎内線1282・1283

### 市内8地域自治協議会 平成27年度総会のお知らせ

各地域のまちづくり協議会の平成27年度総会日程をお知らせします。お住まいの地域のまちづくりを考えるきっかけに、ぜひ参加ください。

協議会名	開催日時	場所
矢本ひがしネットワークコミュニティ	4月23日(木)19時	矢本東市民センター
矢本西コミュニティ協議会	4月21日(火)19時	矢本西市民センター
大曲まちづくり協議会	4月17日(金)18時30分	大曲市民センター
赤井地区自治協議会	4月24日(金)19時	赤井市民センター
大塩自治協議会	4月16日(木)19時	大塩市民センター
小野地域まちづくり協議会	4月19日(日)19時	小野市民センター
野蒜まちづくり協議会	4月26日(日)10時	野蒜市民センター
宮戸コミュニティ推進協議会	4月24日(金)14時	宮戸市民センター

### 第28回大塩地区ふれあい花まつり開催

■日時 4月25日(土)16時～  
※入場無料。

■場所 大塩小学校校庭

### ■主な内容

大塩小学校鼓笛隊披露やグルメ屋台、地元出演者、花火ナイアガラなど

### ■主催

大塩地区ふれあい花まつり実行委員会

■問 大塩市民センター ☎82-7532



### あったかいホールからのお知らせ

チャレンジショップ(あったかいホール1階)では、地元の旬の野菜・海苔や手作り小物を販売しています。ぜひお越しください。

手作りチャレンジクラブ ※申し込みは電話受付。

### ★布草履教室

■日時 4月18日(土)・23日(木) 13時～16時

■材料費 500円

### ★楽しい手作り～手織り(裂き織り)～

■日時 4月28日(火) 13時～16時

■材料費 500円

### ★健康麻雀教室

■日時 4月10日(金)・16日(木)・24日(金)・30日(木) 13時～16時

■受講料 500円



### 「あったかいホール」開館時間のお知らせ

■チャレンジショップ(1階) 10時～16時 ※日曜日・祝日休館。

■問・申し込み ☎98-6061 FAX:98-6062

# CityView!



「CityView!」では、市のイベントや地域の問題を、皆さんにお届けします。  
<掲載した写真は、データで提供します。希望の方は問い合わせください。>

## 東日本大震災 から4年



東日本大震災東松島市慰霊祭



東日本大震災から4年の3月11日(水)、市内の各地で亡くなられた方を偲ぶ催しが開催されました。平成27年東日本大震災東松島市慰霊祭には約700人が参加し、亡くなられた方たちの在りし日の姿を思い浮かべながら祭壇に手を合わせました。遺族代表では、親族6人を亡くした鈴木美佐子さん(行政区等・新東名・左の写真が「新しい街の明りが心を癒やす日」を待ちます。天国から一日も早い復興を祈ってください)と述べました(3月11日、市民体育館)。



## 天皇皇后両陛下 東松島市御訪問

天皇皇后両陛下は、第3回国連防災世界会議開会式への御出席と、東日本大震災復興状況御視察のため、3月13日(金)から15日(日)にかけて本県を行幸啓されました。  
両陛下は14日(土)、東松島市を御来訪され、市役所鳴瀬庁舎で震災復興状況の御聴取後、東日本大震災で被災した牛網の農業生産法人「燗サンエイト」を御視察。栽培ハウスの中でイチゴの栽培状況を見て回られ、イチゴ摘みを御体験されました。また、翌15日には、石巻市での御視察の後、市役所本庁舎で御昼食をお召しになりました。市役所前や沿道では、たくさんの方々が、日の丸の小旗を振り両陛下を歓迎しました。

## 新総合計画策定へ 市民フォーラム



市制10周年を前に、市は新しい総合計画(平成28〜37年度の策定に向けた)市民フォーラム「東し方行く先 私たちのまち東松島」(心を合わせ、支え合い、夢あふれるまちを目指して)を開きました。市民代表の皆さんが登壇し、次の10年のまちの将来像やまちづくりの方策を語り合いました(3月2日、市コミュニティセンター)。

### 東松島の気になるあの人・話題の皆さんにピックアップ!! 第12回

### topics HIGASHIMATSUSHIMA



地域が誇る伝統を継承  
柳の目獅子舞愛好会

「柳の目獅子舞愛好会」(星和樹会長)は、赤井地区の住民有志約40人で構成する団体です。

地域の五穀豊穡・家内安全を祈願するために大正時代に始まった舞で、同地区にある五十鈴神社の祭儀で奉納します。以来100年余り、地域の人々の手で受け継がれてきました。

毎年1月上旬には、家々を巡回して厄払いを行う「新春祈禱」をはじめ、地域のイベントなどでも活気あふれる演舞を披露しています。会員の年齢層は20～60代と幅広く、まるで家族のように温かい雰囲気漂っているのが特徴であり、魅力の一つです。

会長の星さん(30)は「地域が誇る伝統を絶やさないようにと、会員が心をつにし、活動に励んでいます。また次代に継承しようと、毎月第1土曜日には柳区地区センターで、地域の子どもたちに演舞の指導を行っています」と話していました。

愛好会では、一緒に活動をしてくれる会員を地区の内外を問わず募集しています。興味のある方は、ぜひ問い合わせください。

■問 星和樹会長 ☎080-3149-3662



赤井小学校卒業式

赤井小学校の卒業生38人は未来への志と感謝の思いを胸に、進まれた学び舎に別れを告げました(3月19日)



鳴瀬桜華小学校卒業式

統合後2年目の卒業生56人は、これからの学校を築いていく下級生たちに期待を込めました(3月19日)

卒業おめでとう

# 旅立ちの春

平成26年度卒業式が市内の各幼稚園や小学校、中学校などで行われました。震災からの復興に向かう時期と一緒に過ごした子どもたちは、心身ともに大きく成長しました。たくさんの思い出の詰まった学び舎との別れを惜しみながら、春から始まる新しい生活に期待を膨らませていました。



鳴瀬未来中学校卒業式

在学中に学校統合を経験した卒業生82人は、新たに築いた友情と支えてくれた周囲に感謝の気持ちを表しました。山形県東根市立神町中学校の吹奏楽部も駆けつけ、演奏で門出を祝いました(3月7日)



矢本はなぶさ幼稚園卒園式

矢本はなぶさ幼稚園では、卒園児50人が保護者や職員に見守られながら、人生最初の卒業を体験しました(3月17日)